

第144期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで | 証券コード：1969



Contents

連結財務ハイライト	1
事業の概況	2
TOPICS	3
連結財務諸表	5
株主還元について	5
会社情報／株式情報	6



ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

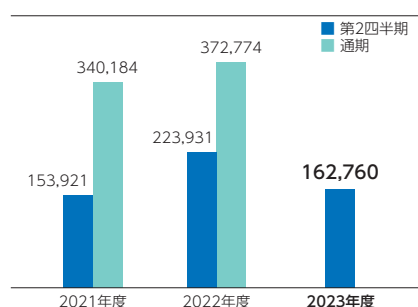
ここに、当社第144期第2四半期累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の発展にご期待いただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

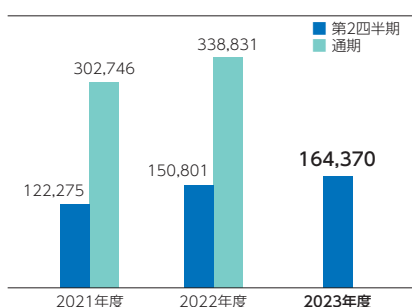
代表取締役社長 社長執行役員 **小島 和人**

連結財務ハイライト

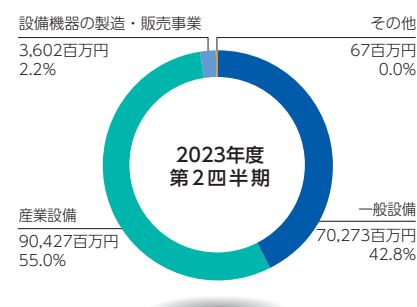
■ 受注高 (単位：百万円)



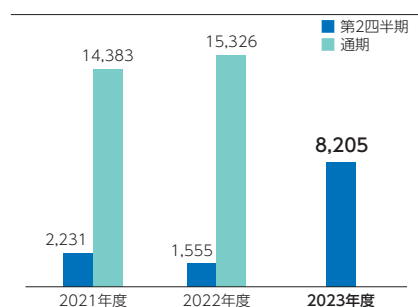
■ 売上高 (単位：百万円)



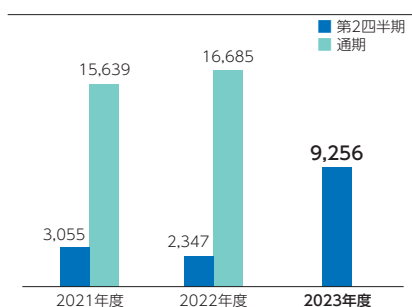
■ 売上高構成比



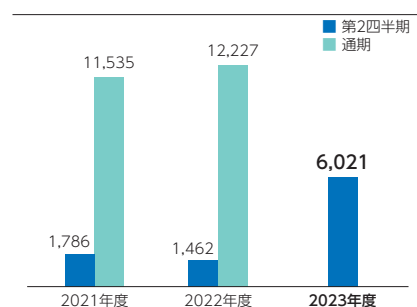
■ 営業利益 (単位：百万円)



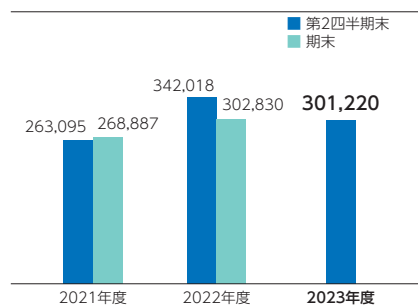
■ 経常利益 (単位：百万円)



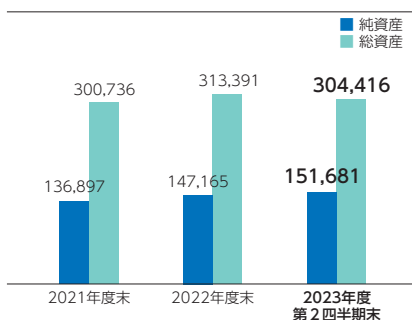
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



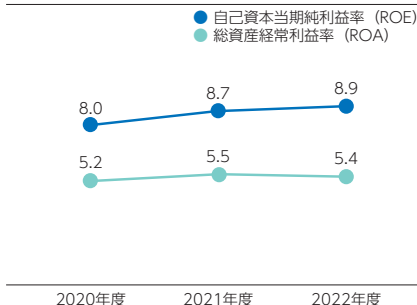
■ 繰越高 (単位：百万円)



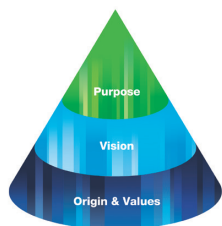
■ 総資産・純資産 (単位：百万円)



(ご参考) ■ 経営指標の推移 (単位：%)



企業理念



Purpose

環境革新で、地球の未来をきりひらく。

空気を調和する。そこから生まれる無限の可能性がある。
高砂熱学は、一人ひとりが百年の歴史から受け継いできた
技術と誇りを胸に、人の和で多様性と共創の輪をひろげていく。
空間環境を創造し、地球へ、そして宇宙へ。
あらゆる環境革新をリードしつづけます。
私たちと家族、世界中の人々の笑顔、すべての生命とともに。

Vision

環境クリエイター®

Origin

社是
人の和と創意で社会に貢献

Values

TakasagoWay

Beyond：期待以上の価値を提供する

Pride：正々堂々とやり抜く

Trust：人との縁が財産

事業の概況

■ 概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇や金融資本市場の変動等による下振れが懸念されたものの、個人消費や雇用・所得環境の改善の動きなど、緩やかな回復の継続が見られるなかで推移しました。

建設業界および当社関連の空調業界におきましては、大都市圏の再開発事業とともに製造業を中心とした設備投資への持ち直しの動きなどに伴い、建設需要は底堅く継続しておりますが、働き方改革への対応や世界経済の先行き不透明感には引き続き注視を要するなど、事業運営には慎重な取り組み姿勢が求められる状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に基づき、建設事業による収益基盤を盤石なものとし、将来の成長に向けた投資を推進するための「ビジネスモデルのトランスフォーメーション」と、環境クリエイター®企業へのトランスフォーメーションに向けた人的資本への投資と体制の構築を図るための「企業と人材のトランスフォーメーション」を進めております。

■ 当第2四半期の業績

受注高

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同四半期連結累計期間（以下「前年同四半期」といいます。）を27.3%下回る1,627億円となりました。

一般設備は前年同四半期を21.9%下回る759億円、産業設備は前年同四半期を33.1%下回る822億円となった結果、設備工事事業は前年同四半期を28.2%下回る1,582億円となりました。

設備機器の製造・販売事業等は、前年同四半期を25.8%上回る44億円となりました。

その構成比は、一般設備が46.7%、産業設備が50.6%、設備機器の製造・販売事業等が2.7%であり、海外工事が全体に占める割合は16.0%であります。

売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期を9.0%上回る1,643億円となりました。

一般設備は前年同四半期を2.0%上回る702億円、産業設備は前年同四半期を14.4%上回る904億円となった結果、設備工事事業は前年同四半期を8.6%上回る1,607億円となりました。

設備機器の製造・販売事業等は、前年同四半期を28.3%上回る36億円となりました。

その構成比は、一般設備が42.8%、産業設備が55.0%、設備機器の製造・販売事業等が2.2%であり、海外工事が全体に占める割合は14.3%であります。

利益

利益につきましては、豊富な繰越工事の順調な進捗等により、売上総利益は、前年同四半期を39.6%上回る230億円、営業利益は前年同四半期を427.6%上回る82億円、経常利益は前年同四半期を294.4%上回る92億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期を311.7%上回る60億円となりました。

繰越高

繰越高は、前年同四半期連結会計期間末を11.9%下回る3,012億円となりました。

■ 通期の見通し

通期の業績予想につきましては、海外子会社での一部新築工事の工事期間延長等により工事の進捗が遅れたため、連結売上高は2023年8月10日付け決算短信において発表した予想数値（以下「予想数値」といいます。）を下回る見込みであるものの、各段階利益は、今後も個別での採算改善の継続等を見込み、連結・個別ともに予想数値を上回る見込みです。

通期受注高予想につきましては、主に個別において大都市圏の大型再開発や半導体関連を中心とする製造業での建設需要が堅調に継続しており、施工体制を勘案した受注活動を通じ、連結・単体ともに予想数値を上回る見込みです。

■ 2024年3月期業績予想(通期)

売上高	3,550億円
営業利益	180億円
経常利益	190億円
親会社株主に帰属する当期純利益	140億円
受注高	3,600億円
繰越高	3,078億円

業績のポイント

〈連結業績〉

- **受注高** 施工体制を勘案しながら、旺盛な建設需要に対応するため、従来の支店ベースから全社ベースでの受注戦略を継続し、一般設備は再開発計画やリニューアル工事、産業設備は半導体関連施設を中心に受注活動を展開したものの、反動減により前年同期比で減少
- **売上高** 産業設備を中心として、繰越工事が順調に工事進捗し増収

- **営業利益** 連結・単体ともに採算改善が進み、売上総利益以下、各段階利益とも第2四半期の過去最高を更新

〈事業環境〉

- 半導体関連工場や大型再開発案件における建設需要は底堅く継続
- 資機材価格や労務費は高止まり傾向が継続

再生可能エネルギー利用で カーボンニュートラルを実現 「高砂熱学イノベーションセンター」

世界規模の環境建築技術賞においてアジア最優秀賞を受賞

当社は、株式会社三菱地所設計、田辺新一教授(早稲田大学)、赤司泰義教授(東京大学)とともに、「高砂熱学イノベーションセンター」(茨城県つくばみらい市／以下、本施設。本賞への応募対象はオフィス棟)にて、空気調和・冷暖房に関する世界最大の国際学会 米国暖房冷凍空調学会(ASHRAE)※ が開催する「ASHRAE Technology awards 2024」の地域カンファレンスASHRAE Region XIII 26th Chapters Regional Conferenceで最高得点を獲得し、アジア地域最優秀賞を受賞しました(賞発表: 2023年8月19日)。

本施設では、地域の特性を生かした再生可能エネルギーを積極的に活用しており、地下水熱・バイオマスCHP・太陽光発電を、大規模蓄電システムと組み合わせることでオフグリッド化(電力の自給自足が成立している状態)を実現しています。本成果は、自然災害に対するレジリエンスの強靱化が要求される日本において、特に有用なシステムであると考えます。



「高砂熱学イノベーションセンター」オフィス棟外観。



8月19日に台湾 台中市で行われた表彰式。



※米国暖房冷凍空調学会(ASHRAE/American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers)は、132カ国・5万人以上の会員を擁する、空気調和・冷暖房に関する世界最大の国際的学会。1894年創設、本部: 米国アトランタ。
<https://www.ashrae.org/>

■ 世界規模の環境建築技術賞・ASHRAE Technology awards

「ASHRAE Technology awards」(1999年～、毎年開催)は、省エネ・快適性やユーザーの健康などを兼ね備えた、革新的な環境建築に対する世界最大規模の技術賞です。審査には、設計時の性能だけでなく、実運用データによる裏付けが求められるため、建築・設備関係者からも高い信頼を集めています。今回の受賞は、世界を15地域に分け、各地域の最優秀賞を選ぶもので、シンガポール、韓国、台湾などを含む「Region XIII」(アジア地域)における「First Place」(最優秀賞)の評価を得たものです。これにより全世界最優秀選考の地域代表に選出されました。日本、そしてアジアの代表として「世界一の環境建築」に臨みます。

ASHRAE Technology awards 2024の選考プロセス



詳細はこちらをご覧ください。

https://www.tte-net.com/article_source/data/news/files/20230926_1.pdf

「PRIDE指標2023」にてシルバー認定を取得しました

当社は、ダイバーシティ&インクルージョン推進活動として、性的指向や性自認を理由とする差別をなくし、誰もが活き活きと自分らしく働ける職場環境を目指し取り組んでおり、その活動が評価され、11月7日、「PRIDE指標2023」においてシルバー認定を取得しました。

「PRIDE指標」とは、任意団体「work with Pride」が策定した日本初の職場におけるLGBTQ+などのセクシャル・マイノリティへの取り組みに関する評価指標であり、以下(右)5つの指標を定めています。当社は「Policy」「Representation」「Inspiration」「Engagement/Empowerment」の取り組みが評価され認定を取得いたしました。

当社は、「人財マネジメント基本方針」「調達基本方針」にて掲げているとおり、LGBTQ+に対する差別やハラスメントを重大な人権侵害と捉えています。性的指向や性自認にかかわらず、お互いの多様性を認めて尊重し合う企業文化を醸成するとともに、その能力を最大限に発揮できる職場環境を整備する取り組みを企業の社会的責任であると認識し、継続的に取り組みを進めてまいります。

work with Pride



【PRIDE指標】

1. Policy(行動宣言)
2. Representation(当事者コミュニティ)
3. Inspiration(啓発活動)
4. Development(人事制度・プログラム)
5. Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)

 詳細はこちらをご覧ください。

https://www.tte-net.com/article_source/data/news/detail/2023/654.html

全国の女性社員が集合

当社初「TakasaGo! Woman Pride 2023」を開催

当社は、10月27日(金)に東京都内にて「TakasaGo! Woman Pride 2023」を開催し、本社・支店から全女性社員9割の約360名が参加しました。

当社は2021年よりESG推進委員会の下にダイバーシティ推進ワーキンググループを設置するなど、多様な人財を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することでイノベーションを生み出し、価値創造につなげていくダイバーシティ経営を推進しております。なかでも女性活躍はその第一歩であると考え、本会を開催しました。開催目的は以下のとおりです。

- ・女性が活躍する必要性を女性社員自ら「自分事」として捉え、自律的なキャリア形成を行う。
- ・顔を合わせたことがない他部門・他支店とのネットワークをつくり、仕事上の悩みやキャリア相談を共有するだけでなく、ロールモデルとなる社員を見つけるきっかけとする。
- ・女性活躍の重要性を女性社員のみならず男性社員も考えることにより、女性のキャリア形成について理解し受け入れる風土を整える。

当社は、今後もダイバーシティ経営を推進し、環境クリエイター®として社会課題解決に貢献してまいります。

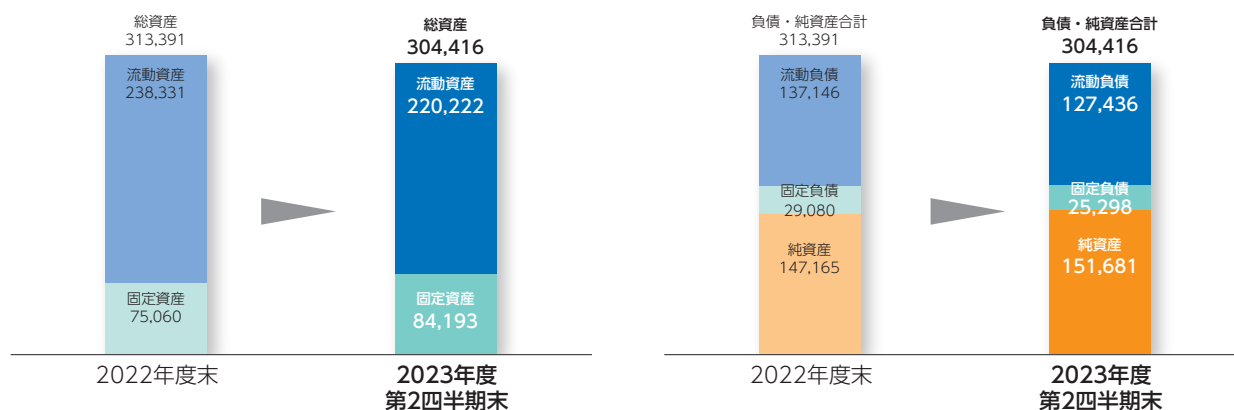


 詳細はこちらをご覧ください。

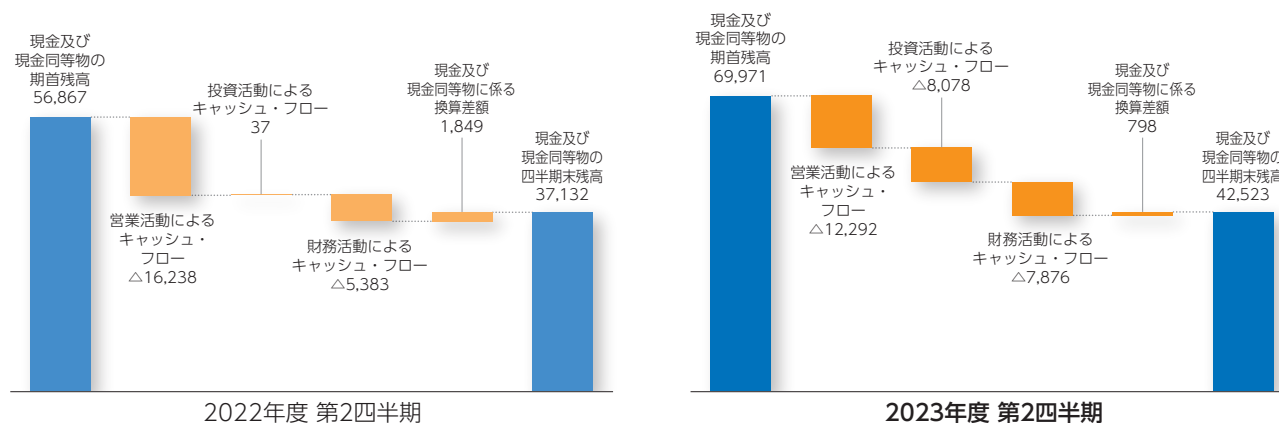
https://www.tte-net.com/article_source/data/news/files/20231107_1.pdf

連結財務諸表

資産、負債および純資産の状況 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



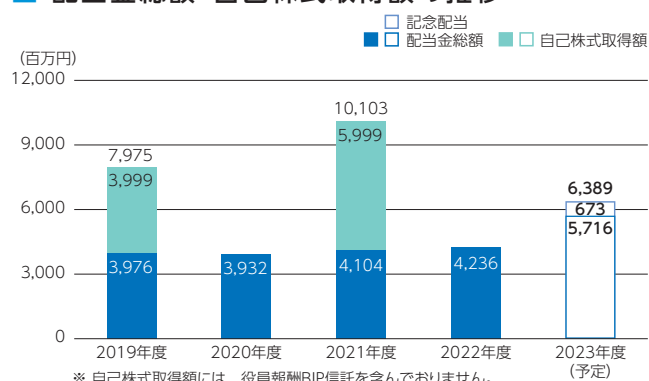
株主還元について

財務の健全性や成長に向けた投資とのバランスを勘案した上で、配当による株主還元を基本とし、配当性向40%を目途に持続的な利益成長に応じて配当を増やしていく累進配当としております。

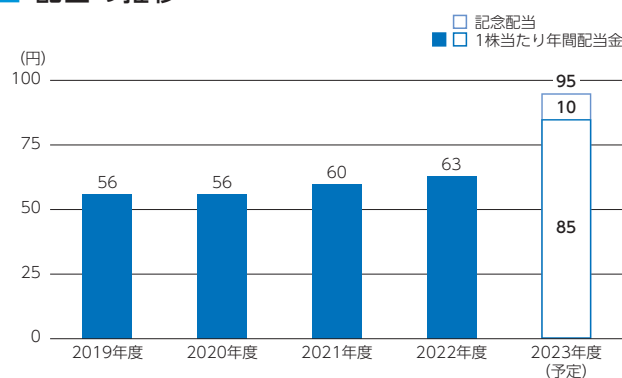
当期における当社の中間配当金につきましては、普通株式1株につき38円とさせていただきます。また、期末配当金につきましては、通期の業績予想が2023年8月10日付け決算短信において発表した予想数値を上回ることにより、普通株式1株につき39円から47円と8円引き上げ、年間85円を予定しております。また、創立100周年の記念配当10円の実施により、普通株式1株につき普通配当と記念配当をあわせて、年間95円を予定しております。

自己株式の取得は、中長期的に株主価値を高める観点から、「健全性」と「資本効率」を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し、機動的に実施することとしております。

■ 配当金総額・自己株式取得額の推移



■ 配当の推移



■ 会社概要

社 名

高砂熱学工業株式会社
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

設 立

1923年(大正12年)11月16日

所 在 地

〒160-0022
東京都新宿区新宿六丁目27番30号

資 本 金

13,134百万円

従業員数

5,889名(当社 2,210名)

ホームページ

<https://www.tte-net.com/index.html>

■ 役員一覧

代表取締役社長
社長執行役員 小島 和人

取締役常務執行役員 神谷 忠史 技術本部長 兼 関係会社担当 兼 事業戦略統括部管掌

取締役CDXO
常務執行役員 横手 敏一 リスク・コンプライアンス担当 兼 コーポレート部門管掌 兼 DX部門管掌

取締役常務執行役員 久保田 浩司 営業本部長

取締役 内野 州馬

取締役 高木 敦

取締役 関 葉子

取締役 森本 英香

取締役(監査等委員) 中村 正人

取締役(監査等委員) 榊原 一夫

取締役(監査等委員) 日岡 裕之

取締役(監査等委員) 若松 弘之

(注) 1. 2023年6月23日開催の定時株主総会において定款の変更が決議されたことにより、当社は同日付をもって監査等委員会設置会社に移行しております。

2. 取締役の内野州馬氏、高木敦氏、関葉子氏および森本英香氏は、社外取締役であります。

3. 取締役(監査等委員)の榊原一夫氏、日岡裕之氏および若松弘之氏は、社外取締役(監査等委員)であります。

4. 上記の社外取締役7氏は、東京証券取引所所有証券上場規程に定める独立役員に指定され、同取引所に対する届出がなされております。

株式情報

(2023年9月30日現在)

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,713	9.98
日本生命保険相互会社	4,560	6.78
第一生命保険株式会社	4,231	6.29
高砂熱学従業員持株会	3,411	5.07
高砂共栄会	3,020	4.49
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,473	3.67
株式会社三菱UFJ銀行	1,439	2.14
株式会社みずほ銀行	1,210	1.79
株式会社京王閣	1,016	1.51
三和工業株式会社	830	1.23

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式(2,986,256株)を控除して計算しております。

3. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

4. 自己株式には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式(346,216株)は含まれておりません。

5. 自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)」が保有する当社株式(274,400株)は含まれておりません。

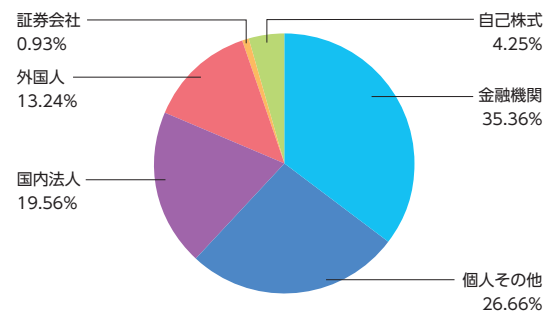
■ 株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株

発行済株式の総数 67,253,146株
(自己株式 2,986,256株を除く)

株主数 7,723名
(前事業年度末比 863名増)

所有者別株式分布



INFORMATION

「高砂熱学100周年サイト」を開設

～バーチャルギャラリー・100秒ムービーなどのコンテンツを公開～

当社は、11月16日に創立100周年を迎えるにあたり、特設サイト「高砂熱学100周年サイト」を開設しました。

本サイトは、大正～昭和～平成～令和と時代が移り行くなかで、当社が産業や社会の基盤を支える存在として「空調調和設備」を中心に歩んできた「これまで」の百年の歩みと、環境クリエイター®として、さまざまな社会課題の解決に挑戦し続ける「いま」「これから」を、360°パノラマのバーチャルギャラリーで紹介しております。

また、100年の歴史を100秒で振り返ることができる「100秒ムービー」も同サイト内にて公開しておりますので是非ご覧ください。



詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.tte-net.com/100th/index.html>

IRカレンダー



	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算発表			● 第1四半期決算発表			● 第2四半期決算発表			● 第3四半期決算発表		
株主総会	● 招集通知発送			● 定時株主総会開催								
配当基準日							● 中間配当株主確定			期末配当株主確定 ●		
有価証券報告書 四半期報告書				● 有価証券報告書発行								
株主向け報告書				● 第1四半期報告書発行			● 第2四半期報告書発行			● 第3四半期報告書発行		
株主向け報告書							● 株主向け報告書(中間期)開示					
コーポレートレポート							● コーポレートレポート発行					
株主向けイベント							● 施設見学会					

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 【お問い合わせ先】	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 https://www.tte-net.com/index.html ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告の際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願い申し上げます。

株式に関するお問い合わせ

- ・届出住所等のご変更
- ・配当金の受領方法・振込先のご変更
- ・単元未満株式の買取のご請求

口座を開設されている証券会社まで
お問い合わせください。

- ・特別口座に関するご照会
- ・郵送物の発送と返戻に関するご照会
- ・支払期間経過後の配当金に関するご照会
- ・その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部まで
お問い合わせください。
☎ 0120-232-711
(平日午前9時～午後5時)